

Project 7 二次資料の検索 練習問題

クラス () 学籍番号 () 氏名 ()

《国立国会図書館NDL-OPAC を利用し、論文に利用できそうな図書を広く探す》

検索画面を開くには

1. ブラウザを起動し、アドレスに<http://opac.ndl.go.jp/>を入力、Return キーを押す。
2. 「一般資料の検索／申込み」をクリックする。→ 検索画面（書誌一般検索）が表示される。

次の手順で検索しよう

＜主題を表わすキーワード（自然語）一語をアクセスポイントとする＞

- 1 自分のテーマに関連するキーワードを「タイトル」入力欄にタイプし、「検索」ボタンをクリックする。

- (1) 入力したキーワード () → ヒット件数 ()
- (2) (1)とは別のキーワード () → ヒット件数 ()

- * 新しいキーワードで検索をするには「最初から検索」ボタンをクリックする。
- * 前の画面に単純に戻るには Back をクリックする（インターネット共通の使い方）。この場合は前の検索語が残っている。
新しい検索をしたい場合は「入力消去」ボタンをクリックする。

- 2 検索の範囲を絞り込む。→ AND 検索を使う。

1によって検索された図書の数が多すぎる場合は、絞り込む。

一覧表示の画面から、「絞り込み／再検索」ボタンを押す。前の検索画面にもどる。

(方法1：タイトル欄にキーワードを加えて絞り込む)

- * 同じ項目内でAND 検索をするには、言葉と言葉の間にスペースを一つ置く。入力欄の右は **AND** にする。

例 **紛争 アラブ** **テロ 解決** **人口 中国**

- (1) と (2)の検索で用いたキーワードに他のキーワードを加えてAND 検索を試みる。

- (3) (1)とAND 検索したキーワード () (1)と(3)をAND 検索 → ヒット件数 ()
- (4) (2)とAND 検索したキーワード () (2)と(4)をAND 検索 → ヒット件数 ()

(方法2：出版年度で絞りこむ)

- * 「出版年」入力欄に出版年を西暦4桁で入力して検索する。

- (1) と (2)の検索で用いたキーワードに出版年を指定しAND 検索を試みる。

- (5) (1)のキーワードに出版年 () 年以降 () 年まで) として絞り込んだ場合のヒット件数 ()
- (6) (2)のキーワードに出版年 () 年以降 () 年まで) として絞り込んだ場合のヒット件数 ()

- 3 検索の範囲を広げる → OR 検索を使う

検索された図書の数が少なすぎる場合は、条件を広げて検索してみる。

- * 「タイトル」入力欄にテーマを表わす複数のキーワードを、スペースで区切って入力する。

- * 入力欄の右は **OR** に変える。

例 **登校拒否 不登校** **摂食障害 過食症 拒食症**

- (7) 入力した複数のキーワード () ヒット件数 ()
- (8) 別の組み合わせのキーワード () ヒット件数 ()

- 4 AND 検索あるいはOR 検索を行った結果の一覧表示の中から、論文に使いそうな図書を選んでクリックし、詳細表示画面を出す。
それぞれの図書の書誌情報を記録しなさい。

- (9) 書名『』 著者名（責任表示）（）
出版者（） 出版年（）
件名（） NDLC（） NDC（）
- (10) 書名『』 著者名（責任表示）（）
出版者（） 出版年（）
件名（） NDLC（） NDC（）

- * 詳細画面から前の一覧表示のリストに戻る時は「一覧に戻る」をクリックする。
- * 前の画面に単純に戻りたい時は、Back をクリックする。

<件名（主題を表す統制語）をアクセスポイントとする>

- 5 (9)あるいは(10)の詳細情報を表示し、件名（青色の文字で示されている）をクリックしてみよう。

- (11) 件名（） ヒット件数（）
これらの中にはタイトル中に検索語に利用したキーワードが含まれていない図書もヒットしている。そのような図書の中から論文に使いそうな図書の書誌情報を記録しなさい。
- 書名『』 著者名（責任表示）（）
出版者（） 出版年（） NDLC（） NDC（）

- 6 思いついた言葉（自然語）から件名を特定して検索してみる。

- * 画面右上の「件名検索」をクリックする。
- * 「名称」入力欄に思いつく単語（(11)とは異なるもの）を入れ、「検索」をクリックする。
検索された件名（青色の文字で示されている）をクリックする。
- * または件名の頭となる50音を選び、示された件名をクリックする。

- (12) 入力した言葉（） → 示された件名（）
ヒット件数（）

これらの中から論文に使いそうな図書の書誌情報を記録しなさい。

- 書名『』 著者名（責任表示）（）
出版者（） 出版年（） NDLC（） NDC（）

<著者名をアクセスポイントとする>

- 7 上記のプロセスで得た図書（(9) (10) (11) (12)）を書いた著者が、関連する図書を書いているかどうかを調べる。

- * 画面右上の「書誌検索（一般）」をクリックする。「著書・編者」入力欄に著者の名前を入力し、「検索」ボタンをクリックする。

- (13) 著者名（） ヒット件数（）

ヒットした中から、論文に使いそうな図書の書誌情報を記録しなさい。

- 書名『』 著者名（責任表示）（）
出版者（） 出版年（）
件名（） NDLC（） NDC（）

- * 画面右上の「NDL-OPACトップページ（ログアウト）」をクリックして検索を終了する。

《NDL - OPAC で探した図書が女学院図書館にあるかどうかを JOIN で調べる》

8 JOIN に接続し、いままで記録してきた図書 (9) (10) (11) (12) (13) が図書館にあるかどうか調べなさい。

| 探したい図書の書名 | 所蔵の有無 | 請求記号 |
|-----------|-------|------|
| | ある・ない | |
| | ある・ない | |

《国立情報学研究所の Webcatalog Plus を利用し、どこの大学図書館が所蔵しているかを探す》

9 Webcatalog Plus に接続し、図書(9) (10) (11) (12) (13) をどこの大学図書館が所蔵しているかを調べなさい。

- * ブラウザのアドレスに<http://webcatalogplus.nii.ac.jp/>と入力する。
- * 「一致検索」をクリックし検索画面を表示する。
- * 探したい図書の書名や著者名などを入力し、「検索」ボタンを押す。
- * 一覧からタイトルをクリックして詳細情報を表示する。さらに「所蔵図書館」をクリックして図書館名を調べる。

| 探したい図書の書名 | 所蔵図書館名 (1つ) (正式名称を記入) | 内容・目次情報の 有無 | その図書は論文で役立つそうか (内容・目次情報を見て判断) |
|-----------|--------------------------|----------------|----------------------------------|
| | | ある・ない | |
| | | ある・ない | |
| | | ある・ない | |

- * 詳細情報画面を閉じ、「連想検索」をクリックし検索画面を切り替える。
 - * 思いついたキーワードか自然文を入力して「検索」ボタンをクリックする。(例：アフガニスタン難民の現状と課題)
- (14) 入力したキーワードあるいは自然文 ()
ヒット件数 ()
- (15) 「一致検索」と「連想検索」を比較して、気づいた点、便利だと感じた点、面白いと思った点、その他を書きなさい。

他大学図書館を訪問する前には、必ず女学院の図書館員に相談し、紹介状を発行してもらう。

女学院図書館で新しい本を購入してほしい場合は、購入希望を出そう。

論文に利用できそうな図書は、書誌情報を文献カードに記録する。

《書店、または公共図書館のサイトを開いてみる》

- (16) サイト名 () アドレス< >
 ヒットした中から、論文に使えるような図書の書誌情報を記録しなさい。
 書名『 > > 著者名 ()
 出版者 () 出版年 ()